

令和 6 年度 第 6 回 生産管理WG 議事要旨

I.日 時：2024(R6)年 11 月 8 日(金) 13:00～14:30

II.場 所：(一社)日本木造住宅産業協会 6階会議室+オンライン(ZOOM)開催

III.出席者：(敬称略、順不同、※印は ZOOM 参加)：下線は欠席

リーダー：未定

主 査：秋山(東洋大学名誉教授)

メンバー：秋本(住友林業株)、※杉山(ポラテック株)、内山(株エー・エス・ディ)、鎌田(株アールシーア)、工藤(近藤建設株)、※折笠(株エー・エス・ディ)、佐々木(株LIXIL)、清田(株エヌ・シー・エヌ)、氏居(進建設株)、小川(株細田工務店)、※原口(住友林業株)、後上(株カナイ)、小山(株エニバーサルホーム)、丹治(株ナイス)、今倉(ジ ャパンホームシールド株)、

オブザーバー：※浜本(福井コンピュータアーキテクト株)、小山(株アンドパッド)、高島(株アンドパッド)

事務局：鈴木、松澤

(出席者 11 名)

【報告・議事事項】

1. 前回議事録の確認 (資料1)

・事務局読み上げ、修正なし

2. 生産技術委員会 YouTube コンテンツ 10.31 (資料2)

・視聴回数は、少なくなっているが、継続的に視聴されている。
・新人教育にも使われているようなので、推移を見ていく。

3.4. 生産 WG 次期テーマ アンケートについて (資料3)

(秋本委員長)

・アンケート及び、前回の WG にて、7 つあったテーマを 4 つに大別いたしました。

1. 働き方改革 (現場環境+効率サポート)
2. プレカット関係
3. 遠隔巡視・管理ツール、ソフト関係
4. 人材確保・育成

・今回、上記テーマの詳細または、他材料があれば、持ち寄り、煮詰めるということで、杉山委員の資料を紹介していただく

(杉山委員)

1) かがわ住宅フェア 2024

ワークショップ開催(左官コテ塗、ブロック塀積、高所作業、畳づくり等)

子供たちに知ってもらいたい、興味を持ってもらいたい。

2) 木被覆角形鋼管柱 1h耐火、国土交通大臣認定取得（住友林業様）

- ・鋼管柱を木の4つのパーツで被覆

3) 「施工パートナー推進センター」7月から稼働（住友林業様）

- ・協力業者、職人さんの相談するところを設けた。
- ・協力業者、職人さんへの援助・支援ができ、業界全体でこういう流れができれば良い。
- ・職人募集も担当。

4) 「JUCOR 見積」開発（住友林業様）

- ・プレカット系見積の簡略化、見積支援システム

5) 外国人労働者 日本人対比 56%（ケイアイスター不動産様）

- ・外国人労働者、魅力付のために、資格取得サポート、各種手当、環境整備表彰制度を設け、実施。

6) 小学生に向けての体験教室（ケイアイスター不動産様）

- ・模型を組立てプレゼン。

7) マンション丸わかりツアー（長谷工グループ様）

- ・クロス貼り体験ツアー、足場安全講習等、実施

8) 熱中症ゼロ ライブカメラ、ウェアラブルで心拍数チェック（大東建託様）

- ベルチ式ベスト（冷却機能）

9) エクステリア教育、外構技術研修所設立（YKKAP 様）

10) 大学生などがインターンシップとして1週間、学ぶシステム（神馬建設様・北海道浦河町）

（秋本委員長）

- ・各自、気になったものありますか。

（原口委員）

- ・子供がデザイナー、プレゼンの企画は、業界の裾野を広げる意味で素晴らしい

- ・「施工パートナー推進センター」

各支店の現場責任者と生産系トップの話ができ、有意義。

また、集まってくる情報は非常に多い

ラジオ CM、反響多い、効果絶大。（職人さん、ラジオを良く聞いている）

応募関係も多い→全国各地に情報を落としていく

現在、情報が想像以上に集まってくる。今後その振り分け等、順次、展開。

（秋本委員長）

- ・業者、職人さんにとって、こういうサポート体制があるということで、

コミュニケーションの場にもなる。

（小山委員）

- ・ケイアイさんの外国人半分以上の構成は、どういうふうにしたから良かった等、

方法や経過、過程の話があると良いと思います。

（杉山委員）

- ・ケイアイクラフト（社員職人の育成、運営が主）という会社

(秋山先生)

- ・現状、比率が50%以上ということだが、今後の継続性という意味では確認は必要(K 社にお話しを聞いてみないとわからないが...)
- ・(特定2号だと永住権はあるが、特定1号、技能実習生は、永住権ないので)
- ・外国人実習生等、ある程度、多く安定して毎年、入社してくるなら、先輩が、後輩を教えていくという循環型体制・運用ができるが、なかなか、うまく廻らない、かつ住宅の場合、現場がそれぞれ離れているので、どういうふうに運用しているのか。
- ・(技能実習生→外国人就労者1人で現場に配属できない。日本の会社・指導員と同行必要)

(杉山委員)

- ・K 社さん、特定技能1号、技能実習生、高度人材などの人材採用 97 名(ベトナム、フィリピン、ウズベキスタン、スリランカ)

(浜本オブザーバー)

- ・事例収集は大切。
- ・ケイアイさんの人材発掘(小中学生に興味を持ってもらう企画重要)企画素晴らしい

(内山委員)

- ・友人に「総合科学科高校」(川崎総合)の方がいるが、(物づくり、生涯賃金からの就労への考え方、優秀な子多い)こういう学校へのプレゼン、アプローチも、木工住協の新たな試みとして、重要ではないか。
- ・上記、高校に限らず建築系等、リストアップすれば、かなりの数、あるのでは。
- ・実際のものや、動画等、本物を使つてのもの、ビジュアル的教材、運用。

(秋山先生)

- ・纏めていただいたテーマのうち、
- ・法令等は、短期的なもの
- ・職場環境等は2～3年等、中期的なもの
- ・上記、人材採用・育成関係は、すぐに効果がでるものではないので、長期的なもの
- ・中小ゼネコンの話だが、最近は仕事を取るというより、断らなければならない。
- ・事業継承的にも、経営者はいかに人員を確保していくか、どうやって安定的に人材を確保していくか悩まれている方も多い。施工パートナー推進センターにて相談される内容もセミオープンになるなら、確認してみたい(木工住協としても重要)

(原口委員)

- ・「推進センター」の話だけでなく、学校訪問時のパンフレット活用事例等、次回、紹介できれば紹介していきます。

(内山委員)

- ・総合科学高校の知り合いに、どういうものかいいかヒヤリングしてみる。

(秋本委員長)

- ・次回、進め方や各アイデア等いただきながら進めていきたいので、御協力をお願いします。

【次回 令和6年度 第7回生産管理WG】

令和 6年 12月 13日(金)13:00～14:30 木工住協 6階会議室+ZOOM

以 上

